

## バスタの登録内容(2011年11月現在)

\*印は収穫物の残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数を示します。  
\*\*印はグルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数(制限)を示します。

作物名 [ ]は適用場所	適用雑草名	使用時期*	10アール当り 使用量(ml)	総使用 回数**	作物名 [ ]は適用場所	適用雑草名	使用時期*	10アール当り 使用量(ml)	総使用 回数**
かんきつ りんご	一年生雑草	21日	300~500	3回	そば	そば	は種前	300~500	3回
	多年生雑草		500~1,000				は種後出芽前		
ぶどう、なし、おうとう、 かき、もも、小粒核果類 ネクタリン、ブルーベリー	一年生雑草	前日	300~500	3回	そば[圃場内の周縁部]	なばな	前日	300~500	2回
	多年生雑草		500~1,000				は種前または 畦間処理		
びわ キウイフルーツ	一年生雑草	21日	300~500	3回	ほうれんそう	にら さやいんげん さやえんどう 実えんどう	7日	300~500	3回
	多年生雑草		500~750				は種前		
いちじく	一年生雑草	前日	300~500	3回	未成熟そらまめ	ブロッコリー ズッキーニ	前日	300~500	2回
	多年生雑草		500~1,000				定植前		
いちよう(種子)	一年生雑草	14日	300~500	2回	しょうが	しょうが	前日	300~500	3回
	多年生雑草		500~750				は種前		
くり	一年生雑草	30日	300~500	2回	食用ざく	セルリー	前日	300~500	2回
	多年生雑草		500~750				定植前		
ざんしょう(果実)	一年生雑草	7日	300~500	2回	食用桑(葉) 食用桑(果実)	パセリ	前日	300~500	2回
	多年生雑草		500~750				は種前		
キャベツ、はくさい	一年生雑草	定植前 または 畦間処理	45日	3回	小麦	大麦	前日	300~500	3回
		は種前または 畦間処理	7日	2回			は種後出芽前		
きゅうり、なす、ピーマン とうがらし類、トマト ミニトマト	一年生雑草	定植前または 畦間処理	45日	2回	小麦、大麦 [圃場内の周縁部]	小麦、大麦 [圃場内の周縁部]	前日	300~500	3回
		は種前または 畦間処理	7日				3回		
だいこん	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	水田作物	水田作物 [水田刈跡]	前日	300~500	1回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
はつかだいこん	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	水田作物 [水田畦畔]	水田作物 [水田畦畔]	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
ごぼう	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	水田作物 畑作物[休耕田]	茶	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
メロン、レタス 非結球レタス、かぼちゃ	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	茶	たばこ	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
にんじん、オクラ	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	日本芝 (こつらいしば)	桑	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
アスパラガス	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	花き類・観葉植物	樹木類	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
いちご	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	樹木等 [適用場所:公園 庭園、堤とう、駐車場 道路、運動場、宅地 のり面、鉄道等]	樹木等	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
すいか、ねぎ たまねぎ、にがうり	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
しろうり	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
さといも やまのいも	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
かんしょ	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
ごんにやく	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
ばれいしょ	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
かぶ	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
豆類 (種実、ただし、 だいずを除く)	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
だいず	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		
えだまめ	一年生雑草	定植前または 畦間処理	30日	3回	雑草生育期	雑草生育期	前日	300~500	2回
		は種前または 畦間処理	30日				2回		

[使い方]希釈水量10アール当り100~150ℓを雑草茎葉散布。ただし、適用場所:公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等は100~200ℓを植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布。

### 上手な使い方

各作物での使用量については、ラベルの記載に従ってください。

一年生雑草  
**200倍~300倍**

多年生雑草  
**100倍~150倍**

### 注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整して、使いきってください。展着剤は必要ありません。
- 本剤は土壌に落下すると速やかに不活性化して、効果が発現しません。薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布してください。雑草が大きくなると不経済で作業も大変です。草丈15~30cmを目安に散布してください。
- 散布後6時間以内の降雨は効果が減ることがあります。天候をよく見極めてから散布してください。
- 作物に薬液が付着すると薬害が生ずるので、散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布してください。特に、野菜類の生育期畦間散布や水田畦畔で使用する場合は作物にかからないように、十分注意して散布してください。
- 芝に散布する場合、生育中の芝には薬害が生ずるので使用しないでください。また、芝の休眠直後や萌芽期に近くなってからの散布では萌芽抑制などの薬害を生ずることがあるので、芝が完全に休眠している時期に散布してください。
- だいずの畦間・株間処理に使用する場合、噴口はできるだけ低くし、本業にかからないように散布してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。本剤を適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してください。

- い。なお、病害虫防除所など関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 公園、堤とうなどで使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 水源地等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際には防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい、洗眼してください。



(F-3008 11.11.IS)

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

## バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078(9:00~12:00, 13:00~17:00 土・祝日を除く)